

# H30 医療勤務環境改善に関するアンケート 集計結果

## 調査の概要

### 調査の目的

勤務環境の改善に取り組む医療機関への支援を進めるにあたり、医療勤務環境改善事業の認知度や医療機関における勤務環境改善の取組状況などを把握するため、アンケート調査を実施した。

### 調査項目

- I 医療勤務環境改善事業の認知について
- II 医療機関の取組について
- III 医師の労働時間短縮に向けた取組について
- IV 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

### 調査方法

- 対象施設 : 高知県内の医療機関196施設(病院126、有床診療所70)
- 回収方法 : アンケート票を郵送で送り、FAXで回収
- 実施期間 : 平成31年1月18日(金)～平成31年2月22日(金)

### 回収結果

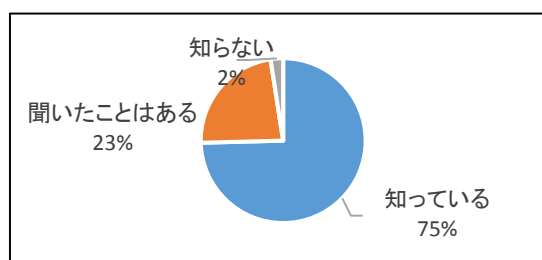
- 回答数 : 122
- 回収率 : 62.2%

## 調査結果

### I 医療勤務環境改善事業の認知について

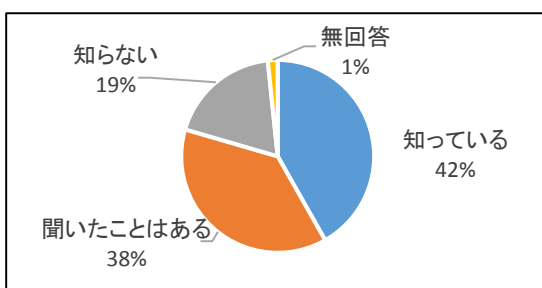
設問1 医療法が改正され、平成26年10月から「医療機関の管理者は、医療従事者の勤務環境の改善に努めなければならない」ことになっていますが、これをご存知ですか。(一つだけ選択)

回答	件数
知っている	91
聞いたことはある	28
知らない	3
合計	122



設問2 勤務環境改善を行うための参考となる「勤務環境改善マネジメントシステム」があることをご存知ですか。(一つだけ選択)

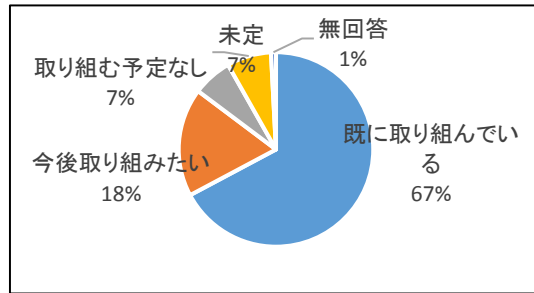
回答	件数
知っている	51
聞いたことはある	46
知らない	23
無回答	2
合計	122



## II 医療機関の取組について

設問1-1 現在、勤務環境改善に取り組んでいますか。(一つだけ選択)

回答	件数
既に取り組んでいる	82
今後取り組みたい	22
取り組む予定なし	8
未定	9
無回答	1
合計	122

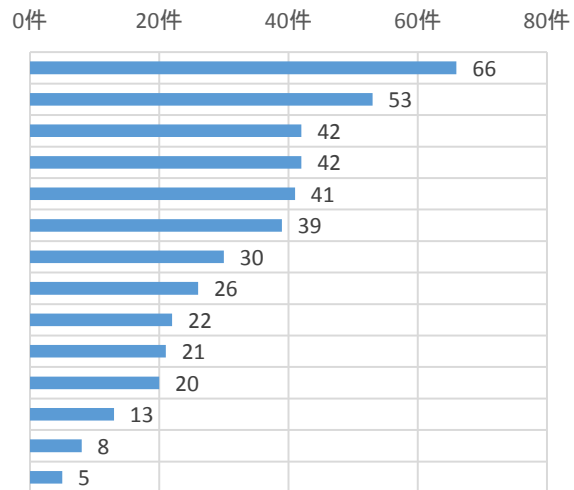


設問1-2 「既に取り組んでいる」と回答した場合  
当てはまる取り組みに○を付けてください。(複数選択可)

勤務環境改善に取り組んでいる医療機関の取組内容

82医療機関の回答

回答	件数
年次有給休暇取得の促進	66
時間外労働時間の削減	53
ハラスメントのない職場	42
メンタルヘルス対策	42
子育て支援制度の整備・充実	41
教育や研修制度の充実	39
勤務シフトの見直し	30
夜間の人員配置	26
公正な人事考課制度	22
離職者の減少	21
労使間の対話の機会整備	20
労務管理者向けマネジメント研修の受講	13
休憩時間の拡充	8
その他	5



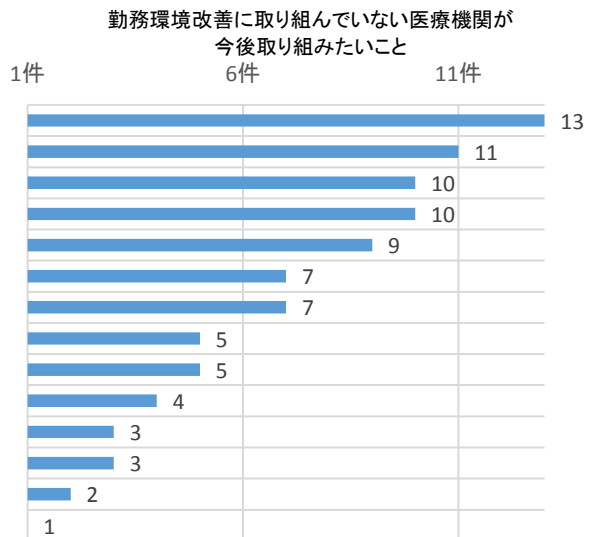
「その他」の記入内容

・業務量調査 ・院内保育 ・人員増員 ・職員アンケート ・休暇の増

設問1-3 「今後取り組みたい」と回答した場合  
当てはまる取り組みに○を付けてください。(複数選択可)

22医療機関の回答

回答	件数
時間外労働時間の削減	13
教育や研修制度の充実	11
年次有給休暇取得の促進	10
離職者の減少	10
ハラスメントのない職場	9
公正な人事考課制度	7
メンタルヘルス対策	7
労使間の対話の機会整備	5
労務管理者向けマネジメント研修の受講	5
夜間の人員配置	4
勤務シフトの見直し	3
子育て支援制度の整備・充実	3
休憩時間の拡充	2
その他	1



「その他」の記入内容

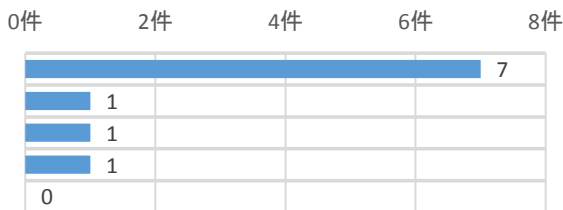
・医師の増員

設問1-4 「取り組む予定なし」と回答した場合  
 当てはまる理由に○を付けてください。(複数選択可)

8医療機関の回答

回答	件数
勤務環境に大きな課題はない	7
取り組み方が分からない	1
取り組みたいが、費用がない	1
その他	1
取り組みたいが、時間がない	0

勤務環境改善に取り組む予定なしの医療機関の理由

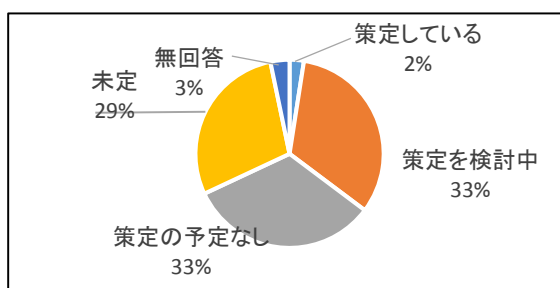


「その他」の記入内容

・医師は管理者のみ。他従業員は労働基準法内で労働。

設問2 「勤務環境改善マネジメントシステム」を導入し、勤務環境の改善計画を策定していますか。  
 (一つだけ選択)

回答	件数
策定している	3
策定を検討中	40
策定の予定なし	40
未定	35
無回答	4
合計	122



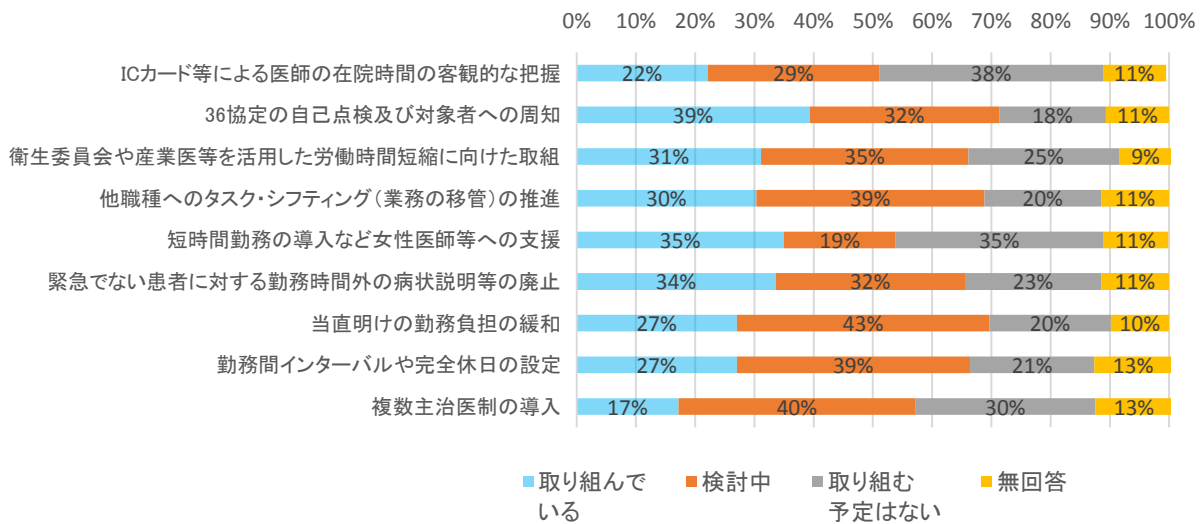
Ⅲ 医師の労働時間短縮に向けた取組について

設問1 平成30年2月にとりまとめられた「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」に掲げられた以下の項目について、現在の取り組み状況をそれぞれの項目の該当するもの1つに○をしてください。なお、「取り組む予定はない」の場合は、その理由を記述してください。

	取り組んでいる	検討中	取り組む予定はない	無回答	合計
ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握	27	36	46	13	122
36協定の自己点検及び対象者への周知	48	39	22	13	122
衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組	38	42	31	11	122
他職種へのタスク・シフティング(業務の移管)の推進	37	47	24	14	122
短時間勤務の導入など女性医師等への支援	42	23	42	15	122
緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止	41	39	28	14	122
当直明けの勤務負担の緩和	33	52	25	12	122
勤務間インターバルや完全休日の設定	33	48	25	16	122
複数主治医制の導入	21	48	37	16	122

	取り組んでいる	検討中	取り組む予定はない	無回答	合計
ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握	22%	29%	38%	11%	100%
36協定の自己点検及び対象者への周知	39%	32%	18%	11%	100%
衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組	31%	35%	25%	9%	100%
他職種へのタスク・シフティング(業務の移管)の推進	30%	39%	20%	11%	100%
短時間勤務の導入など女性医師等への支援	35%	19%	35%	11%	100%
緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止	34%	32%	23%	11%	100%
当直明けの勤務負担の緩和	27%	43%	20%	10%	100%
勤務間インターバルや完全休日の設定	27%	39%	21%	13%	100%
複数主治医制の導入	17%	40%	30%	13%	100%

## 医師の労働時間短縮に向けた取組について



### ◆取り組む予定がない理由

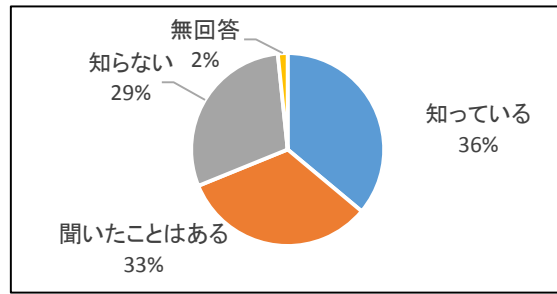
項目	理由(上位3つ、数字は回答数)
ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握	勤務時間はほぼ所定時間内である 10
	個人経営で医師一人のため 7
	現在の状態で把握できている 5
36協定の自己点検及び対象者への周知	個人経営で医師一人のため 4
	時間外超過勤務の実態がないため 3
	必要性を感じない 2
衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組	長時間労働の実態がほぼないため 7
	個人経営で医師一人のため 5
	必要性を感じない 3
他職種へのタスク・シフティング(業務の移管)の推進	時間外超過勤務の実態がないため 3
	個人経営で医師一人のため 2
	必要性を感じない 2
短時間勤務の導入など女性医師等への支援	勤務環境に問題がないため 2
	女性医師がいない 12
	個人経営で医師一人のため 3
緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止	時間外超過勤務の実態がないため 3
	当該事例がほぼないため 5
	個人経営で医師一人のため 5
当直明けの勤務負担の緩和	勤務環境に問題がないため 4
	当直はない 3
	個人経営で医師一人のため 5
勤務間インターバルや完全休日の設定	勤務環境に問題がないため 3
	個人経営で医師一人のため 6
	必要性を感じない 2
複数主治医制の導入	個人経営で医師一人のため 5
	診療所のため無理がある 4
	現在の医師数では困難 3

※すべての回答内容は巻末に掲載しています。

#### IV 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

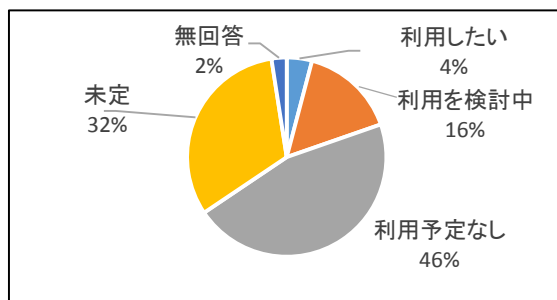
設問1 当センターでは、専門分野のアドバイザーが勤務環境改善に関する相談支援を無料でやっていることをご存知ですか。(一つだけ選択)

回答	件数
知っている	44
聞いたことはある	40
知らない	36
無回答	2
合計	122



設問2-1 当センターの専門アドバイザーによる相談支援を利用したいと思いますか。(一つだけ選択)

回答	件数
利用したい	5
利用を検討中	19
利用予定なし	56
未定	39
無回答	3
合計	122



設問2-2 「利用予定なし」と回答した医療機関にお尋ねします。利用する予定が無い理由に○を付けてください。(複数選択可)

回答	件数
勤務環境に不満がない	38
支援内容が分からない	10
効果が期待できない	6
その他	4
外部から関与されたくない	3

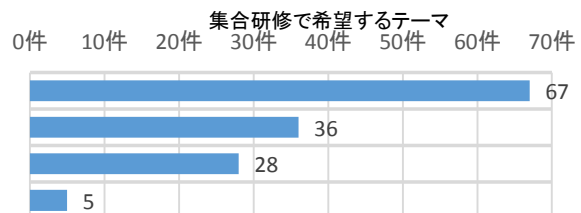


**「その他」の記入内容**

- ・提案に応じられるか疑問
- ・自院にて病院の規模に合う取り組みをしていく
- ・一定の取り組みを行っているため

設問3 当センターが主催する集合研修で、希望するテーマは何ですか。(複数選択可)

回答	件数
労務管理関係	67
ハラスメント関係	36
キャリアアップ関係	28
その他	5



**その他の記入内容**

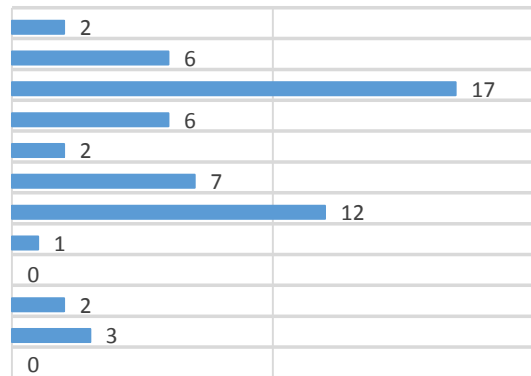
- ・利用していないため不明
- ・メンタルヘルス対策

設問4 当センターが主催する集合研修で、希望する開催時期、開催時間をお尋ねします。

開催時期

回答	件数
4月	2
5月	6
6月	17
7月	6
8月	2
9月	7
10月	12
11月	1
12月	0
1月	2
2月	3
3月	0

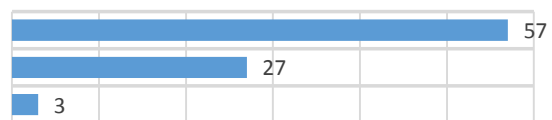
希望する開催時期



開催時間

回答	件数
2時間	57
半日	27
半日以上	3

開催時間



V 高知県医療勤務環境改善支援センターに希望する支援など、ご自由にご記入ください。

意見1

今後におきましても、サポートやアドバイス等よろしく申し上げます。

意見2

医師の偏在が解決しない限り、労働条件の改善は難しい。

意見3

高知の研修日程が合わず行けませんでした。やはり働き方改革の最新情報は興味があります。

意見4

中央と同じように幡多会場での(研修会の)開催をお願いします。

意見5

受付業務の派遣などお願いできれば有難いです。

※4ページ III 医師の労働時間短縮に向けた取組について

取り組む予定がない理由

※()内数字は件数。1件の場合は件数省略

1. ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握

- ・勤務時間はほぼ所定時間内である(10)
- ・現在の状態で把握出来ている(5)
- ・診療所のため(2)
- ・必要性を感じない(2)
- ・人数が足りなくなる
- ・医師は夫婦2人のみ
- ・医師、患者少なく個人的対応で充分
- ・家族経営のため、医師が親密な話し合いが出来る
- ・配属医師の判断に任せている部分大きい
- ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
- ・個人経営で医師1人のため(7)
- ・勤務状態に問題がない(3)
- ・タイムカードにて管理している(2)
- ・外来診療のみのため(2)
- ・36協定の勤務となっているため
- ・経済的負担

2. 36協定の自己点検及び対象者への周知
  - ・個人経営で医師1名のため(4)
  - ・必要性を感じない(2)
  - ・医師は夫婦2人のみ
  - ・人数が足りなくなる
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・家族経営のため、医師が親密な話し合いが出来る
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・36協定は全職員に対し周知しており、自己点検までの必要は感じない
  - ・時間外超過勤務の実態がないため(3)
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・勤務環境に問題がないため
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分
3. 衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組
  - ・長時間労働の実態がほぼないため(7)
  - ・必要性を感じない(3)
  - ・これ以上短縮すると常勤時間を下回る
  - ・時間外労働がほとんどないため
  - ・医師は夫婦2人のみ
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・医師の増員以外に労働時間短縮は難しいのでは？
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・個人経営で医師1名のため(5)
  - ・現状十分な状況と考えている(2)
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分
  - ・勤務環境に問題がないため
  - ・人数が足りなくなる
4. 他職種へのタスク・シフティング(業務の移管)の推進
  - ・時間外超過勤務の実態がないため(3)
  - ・勤務環境に問題がないため(2)
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・当施設の勤務医には適さない
  - ・診療所で延長なし
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・当院は医療療養病床病院のため、医師の勤務時間は交代制で時間外勤務なし
  - ・必要性を感じない(2)
  - ・個人経営で医師1人のため(2)
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分
  - ・医師は夫婦2人のみ
  - ・オーダーリングシステム導入中
5. 短時間勤務の導入など女性医師等への支援
  - ・女性医師がいない(12)
  - ・時間外超過勤務の実態がないため(3)
  - ・医師不足のため、困難
  - ・必要性を感じない
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・個人経営で医師1人のため(3)
  - ・勤務環境に問題がないため(2)
  - ・該当者は非常勤医師として雇用
  - ・女性医師を採用の際に検討する
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分
  - ・女性医師の雇用実績が少ないため
6. 緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止
  - ・当該事例がほぼないため(5)
  - ・勤務環境に問題がないため(4)
  - ・医師の判断に委ねている(2)
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・救急指定でないため負担が少ない
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・個人経営で医師1人のため(5)
  - ・必要性を感じない(2)
  - ・努力義務としている
  - ・医師、患者少なく個人対応で充分
7. 当直明けの勤務負担の緩和
  - ・個人経営で医師1人のため(5)
  - ・勤務環境に問題がないため(3)
  - ・必要性を感じない(2)
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・医師の勤務時間は交代制で時間外勤務なし
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・当直自体の医師の負担は少なく負担緩和の必要性までは感じない
  - ・救急病院でないため、基本的に夜間帯に勤務することはなく、また、明けも定時に帰宅できるため
  - ・当直はない(3)
  - ・診療所のため(2)
  - ・当直明けも勤務が必要である
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分

8. 勤務間インターバルや完全休日の設定
- ・個人経営で医師1人のため(6)
  - ・必要性を感じない(2)
  - ・現在の医師数では困難
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・36協定にて休日に問題なし
  - ・医師の勤務時間は交代制で時間外勤務なし
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・勤務環境に問題がないため(3)
  - ・適宜休暇をとる
  - ・現状でも休日とはとれており必要ない
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分
  - ・1名の医師について、雇用契約のため
9. 複数主治医制の導入
- ・個人経営で医師1人のため(5)
  - ・現在の医師数では困難(3)
  - ・必要性を感じない(2)
  - ・患者の混乱
  - ・回復期リハ病棟のみ導入済み
  - ・継続的な精神科医療を行うため
  - ・病院の規模的に困難である
  - ・配属医師の判断に任せている部分大きい
  - ・主治医不在時に他の医師でカバーできている
  - ・医師確保が難しい状況ではなかなか追いつかない
  - ・診療所のため無理がある(4)
  - ・勤務環境に問題がないため(2)
  - ・当施設には適さない
  - ・医師の得意分野により決定
  - ・医師人数的に難しい
  - ・現状十分な状況と考えている
  - ・医師、患者少なく個人的対応で充分
  - ・格別問題は生じておりません



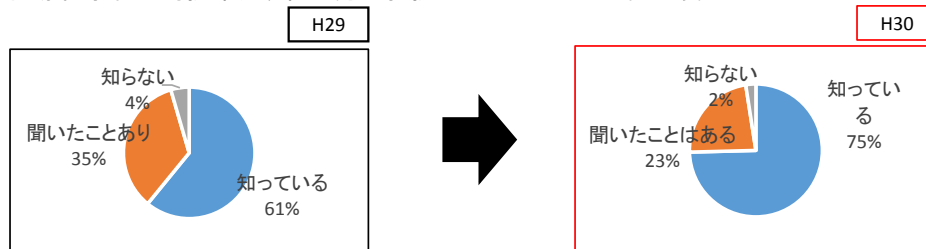
## H30 アンケート調査結果の総括（H29年度との比較）

H29…回答数:133 回収率:65.5%

H30…回答数:122 回収率:62.2%

### I 医療勤務環境改善事業の認知について

設問1 医療従事者の勤務環境改善が努力義務となっていることの認知度

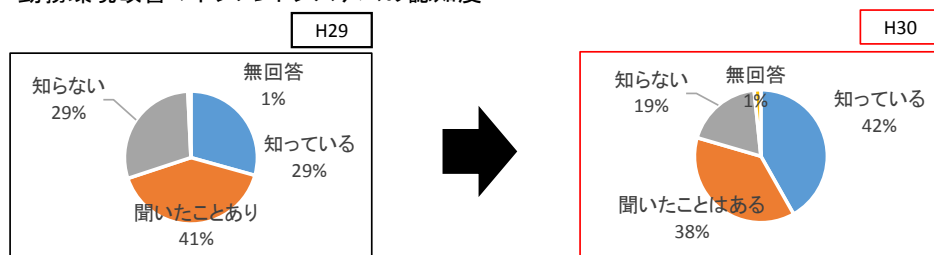


【H29】 知っている61% + 聞いたことあり 35% = 96%

【H30】 知っている75% + 聞いたことはある 23% = 98%

⇒ 昨年度より「知っている」の割合が増え、認知度が上がった。  
大部分の医療機関に知られている。

設問2 勤務環境改善マネジメントシステムの認知度



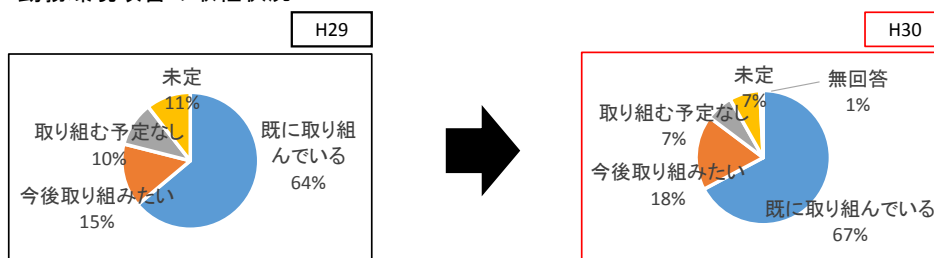
【H29】 知っている29% + 聞いたことあり 41% = 70%

【H30】 知っている42% + 聞いたことはある 38% = 80%

⇒ 昨年度より「知っている」の割合が増え、認知度が上がった。  
「聞いたことはある」も含めると、8割の医療機関に知られている。

### II 医療機関の取組について

設問1-1 勤務環境改善の取組状況



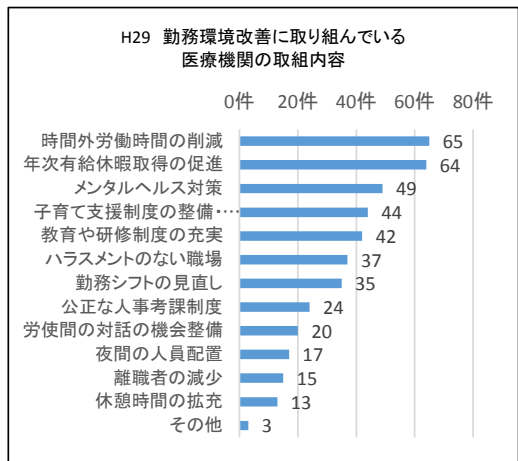
【H29】 既に取組んでいる 64% + 今後取組みたい 15% = 79%

【H30】 既に取組んでいる 67% + 今後取組みたい 18% = 85%

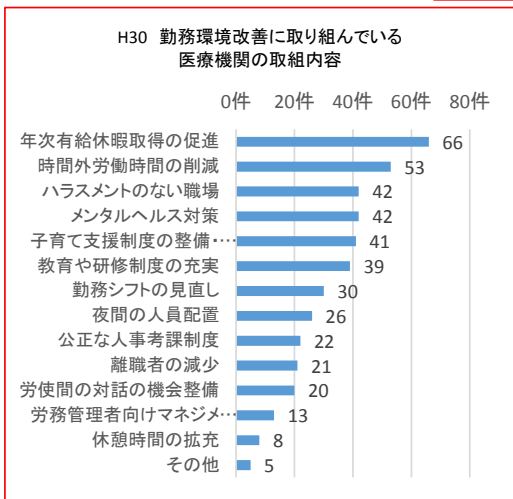
⇒ 多くの医療機関で既に勤務環境改善に取り組んでいるが、今後取組みたいという医療機関も増えている。「取組む予定なし」の理由は、設問1-4参照。

設問1-2 既に取り組んでいる内容

H29

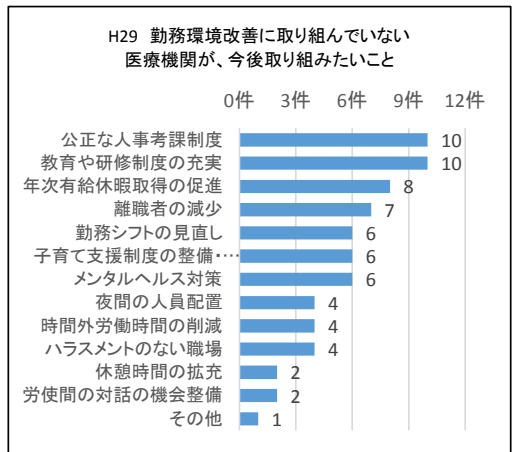


H30

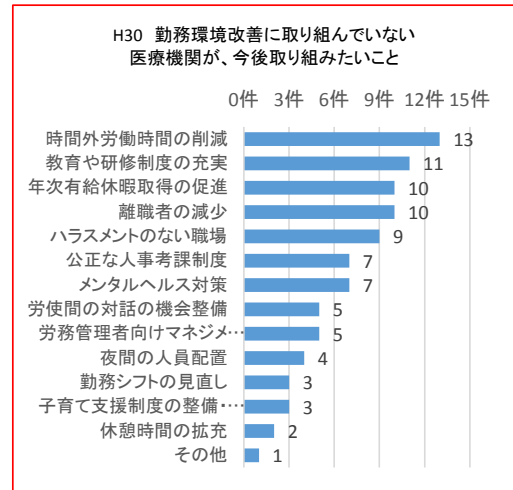


設問1-3 今後取り組みたい内容

H29

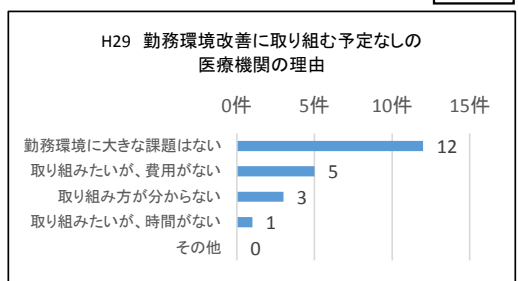


H30

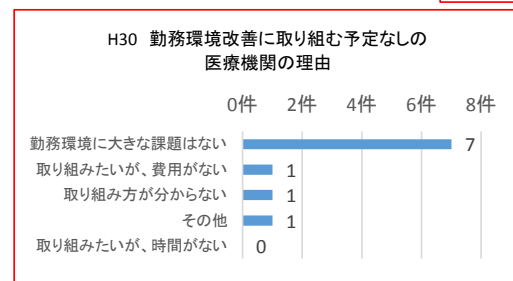


設問1-4 取り組む予定なしの内容

H29

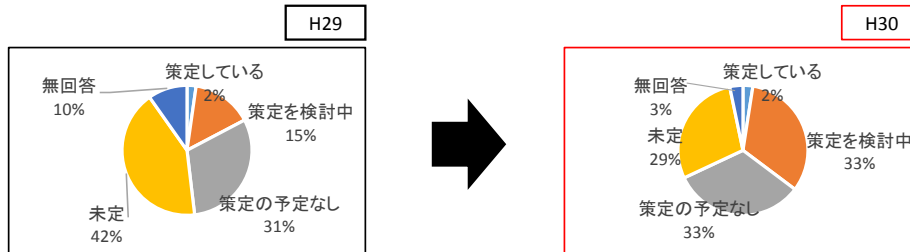


H30



⇒ 昨年度同様「勤務環境に大きな課題はない」という回答が一番多い。

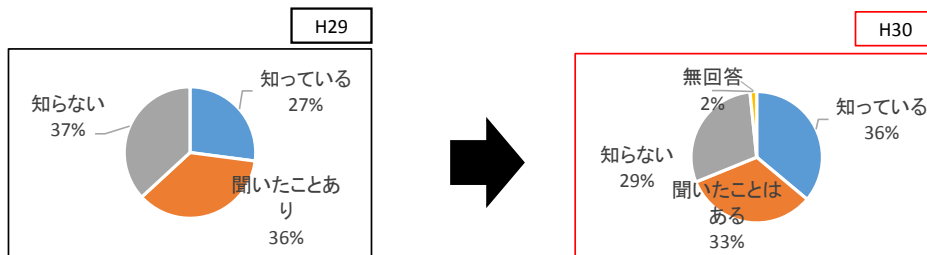
設問2 勤務環境改善マネジメントシステムを導入した改善計画の策定状況



【H29】 策定している 2% + 策定を検討中 15% = 17%  
 【H30】 策定している 2% + 策定を検討中 33% = 35%  
 ⇒ 昨年度と比べ、策定状況に変化はないが「策定を検討中」の割合が増えている。  
 理由の一つに、勤務環境改善の意識や、システムの認知度が少し上がったことが考えられる。

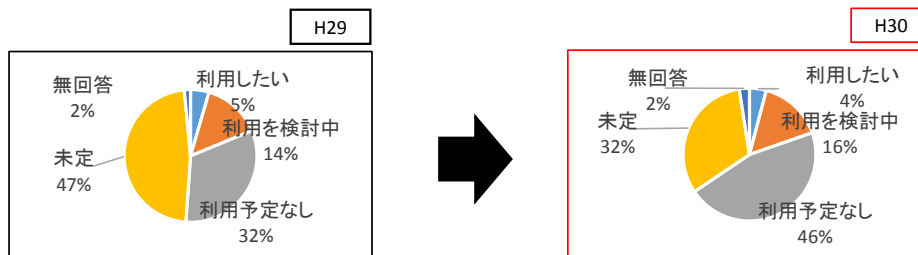
IV 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

設問1 当センターの業務内容の認知度



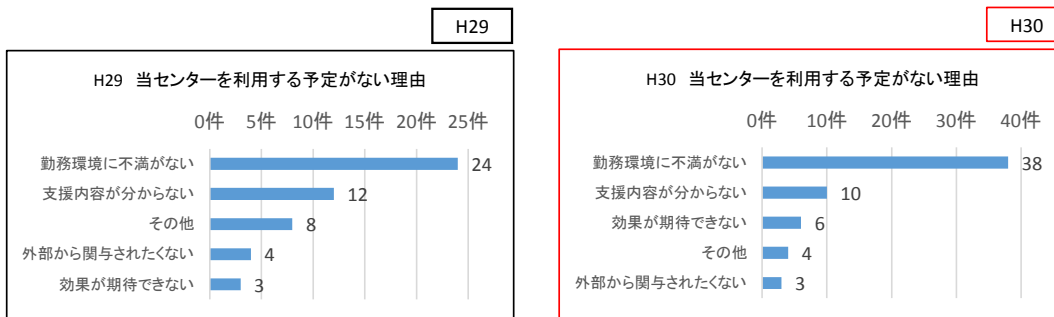
【H29】 知っている 27% + 聞いたことあり 36% = 63%  
 【H30】 知っている 36% + 聞いたことある 33% = 69%  
 ⇒ 昨年度と比べあまり変化がないが、「知っている」の割合が少し増えている。  
 まだまだ十分に知られていない。

設問2-1 当センターの利用予定



【H29】 利用したい 5% + 利用を検討中 14% = 19%  
 【H30】 利用したい 4% + 利用を検討中 16% = 20%  
 ⇒ 昨年度とあまり変化がないが、2割が利用を前向きに考えている。今後利用が増える可能性あり。  
 【H30】「利用予定なし」46%、「未定」32%  
 ⇒ 理由として、まだまだ活動内容が十分に知られておらず、センターを利用するメリットが十分に認知されていないことや、支援実績が豊富ではないことが考えられる。

設問2-2 当センターを利用する予定がない理由



⇒ 昨年度同様、医療機関側の状況を理由とする回答が多いが、「支援内容が分からない」が2位になっている。